

サンタ・マリア (Santa Maria)、陽のあたる島

について



写真: Turismo dos Açores

サンタ・マリア (Santa Maria)、陽のあたる島

サンタ・マリア島はサン・ミゲル島と共にアソーレス諸島の東部グループに属し、サン・ミゲル島から 81km の距離にあります。緑の草原、伝統的な文化、白塗りの家の煙突、暗い黄土色の大地、黄金色のビーチに紺碧の海が、サンタ・マリア島をこの群島の他の島々とは違う趣の島にしています。

この島はアソーレス諸島で最東南の位置にあり、その気候は暖かく乾燥しているため、この島の土地は非常に乾燥しており、植物は黄色みがかって乾燥しています。また、この理由から、サンタ・マリア島は**陽のあたる島**としても知られています。

この島には、特色ある安らぎと機能をもつ地区が 2 つあります。1

つは西の方にあり、平坦で低い場所です。ここには空港があり、この島最大の街**ヴィラ・ド・ポルト** (Vila do Porto) の家並み、サン・ペドロ (São Pedro) の教会区、アルマグレイラ (Almagreira)

もあります。もう

1つの地区は、東部の起伏の激しい

場所にあり、青々とした植生があります。ここにはこの島で**最頂点、海拔 590 メートルのピコ・アルト** (Pico Alto) 山があり、そこからは素晴らしいパノラマビューを楽しめます。サンタ・バルバラ (Santa Bárbara) とエスピリト・サント (Espírito Santo) の教会区はこの地区にあります。

サンタ・マリアはポルトガル人探検家たちに発見された最初の島であり、入植された最初の島であり、アソーレス諸島を構成する最初の島でもあ

りました。したがって、そ

の多様性に富む地質学的過去はその火山岩と堆積岩に刻まれています。これは**ペドレイラ・ド・カンポ** (Pedreira do Campo) に見られます。ここでは100 メートル以上の高さの玄武岩の中には無数の海洋生物の化石が見つかっており、この島が数千年前まで水中に

あったことを証明するもの

です。この地質学的豊かさは、ヴィラ・ド・ポルトの歴史センターの中にある**ダルベルト・ボンボ** (Dalberto Pombo) **環境理解センター**でも鑑賞できます。

いわゆるサンタ・マリア島の「バレイロ」も一見の価値があります。赤みをおびた色合いから明るいオレンジの色合いを持つ地形は乾燥して粘土質であり、「赤い砂漠」として知られる**バレイロ・ダ・ファネカ** (Barreiro da Faneca)

が最も有名です。アソーレス諸島でもユニークな保護された景観地区と考えられており、ラボソ、タガレテ、クレの入り江も含まれています。

この島の火山の形状は、**リベイラ・デ・マロアス** (Ribeira de

Maloás) で特に印象的です。ここでは溶岩が海に接触しているため、川谷に約 20m の滝があります。

サンタ・マリアはギザギザした海岸線、高い岩の岬、そして静かで透明な海の入り江

でも有名です。これらは絶えず、探検への招待状を送り出しています。招待状を送っているのは間違いなくクレ (Cré)、ラポサ (Raposa)、タガレテ (Tagarete) の入り江ですが、他の多くの場所も同様です。

サン・ロウレンソ (São Lourenço)

では、円形競技場のような形状をしたこの入り江の自然美は、海沿いの白い家々の上にある山腹の大地に広がるブドウ園によって引き立っています。また、その洞窟には白砂と岩のプールの素晴らしいビーチがあります。ビーチの遠端は**ロメイロヴの小島** (Ilhéu de Romeirov) にあります。

ブライア・フォルモサ

はその広大な細かい砂と透明な海、あるいはサーフィンのベストスポットの1つであるという理由から、この島で最も人気のビーチの1つです。

ヴィラ・ド・ポルト

の家々は、マヌエル様

式の弓形のドアや窓など、初期の入植者の名

残を一部留めています。この街の守護聖人**ノッサ・セニョーラ・ダ・アスンサオンの教区教会** (Igreja Matriz de Nossa Senhora da Assunção) は、アソーレス諸島で最古の教会の1つですが、時代とともにさまざまな変遷を辿りました。**サン・ブラス要塞** (Forte de São Brás) では、海に狙いを定めた銃が、海賊が襲来した日々を彷彿とさせます。**エスピリト・サント** (Espírito Santo) では、**ノッサ・セニョーラ・ダ・プリフィカサオン教会** (Igreja de Nossa Senhora da Purificação) のバロック様式のファサードをぜひご覧ください。また、**サンタ・マリア博物館** (Museu de Santa Maria) にも足を運びましょう。ここには典型的な家屋の中にあり、2

本の筒状の煙突、鍋状のオープン、田舎のサンタ・マリアに特徴的な建築的要素が見られます。

アンジョス (Anjos)

では、その美しい入り江の他、クリストファー・コロンブスの像と**ノッサ・セニョーラ・ドス・アンジョス教会** (Ermida de Nossa Senhora dos Anjos) があります。ここは、伝説によれば、この冒険家がアメリカからの帰路に礼拝した場所とのことです。

伝統的なサンタ・マリアの家屋

では有彩色の配色も有名です。そのほとんどがアレンテージョとアルガルヴェの伝統建築に想を得ています。この島の最初の入植者達はアルガルヴェからやってきたのです。これらの家々は未完成のピラミッドの上に円筒形の煙突が飛び出しているような長方形の形をしています。この島の5つの教会区のそれぞれが白い石造建築と対比をなす別の色を採用しました。

祭り

他の島々と同様、サンタ・マリア島は、4月から夏の終わりまでエスピリト・サントの祭り (Festas do Espírito Santo) で活気づきます。皇帝の戴冠式と伝統的なパレードからなるそれぞれの宗教的重要性とは別に、宗教とは無関係の側面も非常に興味深いものです。大きな鉄製の鍋が火にかけられ、有名なソパ・ド・インペリオ (sopas do Império) (皇帝のスープ) を調理するために使用されます。これは、この群島でここだけのものです。誰でもこの楽しい祭りに参加して、人々と交流できます。食事は無料です。この時期にサンタ・マリアにいるなら、ぜひそのチャンスを逃さずその美味しいスープを味わいましょう。

しかし、この島が新しい色で活気づくのは8月です。その興奮はサンタ・マリア・ラリー (Rally de Santa Maria) から始まります。これはすでに、モーターレースのカレンダーでは伝統となっています。

8月中旬にはこの島の守護聖人**ノッサ・セニョーラ・ダ・アスンサオンの祭り** (Festa de Nossa Senhora da Assunção) があります。ヴィラ・ド・ポルトは、一般的な祭り、コンサート、手工芸品フェアや料理と密接に連携する宗教的な祝祭を含め、数多くのアクティビティの中心地です。

このどんちゃん騒ぎの月はマレ・デ・アゴスト (Maré de Agosto) 祭りで最高潮を迎えます。この世界の音楽の祭典はすでに国際的に評価されており、夜は音楽を聴き、日中はビーチでくつろぐために多くの場所から人々が集まります。

9月初旬は、サン・ロウレンソ (São Lourenço) のブドウの収穫祭が人気です。この祭りでは、現地のヴィーニョ・デ・チェイロ (vinho de cheiro) やこの島で代表的な他の飲み物を味わえます。

アクティビティ

サンタ・マリアには、夏のアクティビティのために素晴らしい条件を備えた白砂のビーチと岩のプールがいくつかあります。もっとも有名なのは、プライア・フォルモサです。ここでは、サーフィン、ウィンドサーフィン、ウォータースキー、セーリングなどができます。

鍾乳洞や石筍がある興味深い洞穴がある天然の内棧橋を持つロメイロ小島 (Ilhéu do Romeiro) 洞窟を通過するボート乗りは、この素晴らしい海岸を発見するのに最高の方法です。この海岸線は釣りやスピアフィッシングにうってつけです。

豊富な海中生物はスキューバダイビングの愛好家たちに忘れられない体験を与えてくれます。ヴィラ (Vila)、ラゴイーニャ (Lagoinhas)、そしてサン・ロウレンソ (S. Lourenço) の小島、およびエンチャレウス (Encharéus) の洞窟とタガレテ (Tagarete) の入り江は圧倒的な美しさを誇る場所です。サンタ・マリア島の北西部海岸から 37km 離れたフォルミガスは、8 つの特に孤立した小島からなる興味深いグループです。ここは多くの海鳥にとって、羽を休め営巣する重要な場所です。また海中植物も豊富であることから、自然保護区に指定されています。

パラグライダーもサンタ・マリア島のさまざまな入り江で楽しめるアクティビティの1つです。

ガイドと適切な装備が揃えば、フルナ・デ・サントナ (Furna de Santana) やフルナ・ヴェーリャ (Furna Velha) などの自然の洞窟、およびその他グルータ・ド・フィグエイラル (Gruta do Figueiral) などの人間が掘った洞窟を探検できます。

料理

この大地はサンタ・マリア島から最も象徴的な料理の 1 つを提供してくれます。カルド・デ・ナボス (Caldo de Nabos) (カブのスープ) は、小さく暗い色の現地産のカブで作られ、ポークとベーコン、チョリーゾ、スイートポテトと一緒にボイルされます。スープはスライスしたパンを乗せた皿に注がれ、残りの材料は別の皿に盛り付けられます。ソバ・ド・インペリオも絶品です。スリッパー・ロブスター、ロブスター、カザガイ、フジツボなどのさまざまな魚介類の名物料理も同様で、いずれもぜひご賞味ください。

デザートについては、シナモンのビスケット、「ビスコイトス・デ・オレーリャ」 (biscoitos de orelha) (耳の形をしたビスケット)、白いビスケット、ブランデービスケット、そして「カヴァカス」 (cavacas) (軽いサクサクしたケーキ) は必ず味わっていただきたいスイーツのごく一部です。

この島で育ったロックメロンは自然に名声を得、グルメの仲間入りを果たしました。また、現地で作られるソーセージについては、サンタ・マリアのアリエイラは絶対に外せません。

サン・ロウレンソの坂にあるブドウ園で生まれるワイン、ヴィーニョ・デ・チェイロ (vinho de cheiro) は、この地域全体で定評があります。また、伝統的に生産されるヴィーニョ・アバファド (vinho abafado)、ヴィーニョ・アバファディーニョ (vinho abafadinho)、ブラックベリー、とミルク・リキュール、そしてブランデーは素晴らしい消化薬です。

行き方

飛行機：

「Sata – Air Açores」がサン・ミゲル島から毎日運行し、アゾレス諸島の他の島々と結んでいます。詳細は、次のウェブサイトをご覧ください。

- www.sata.pt

- www.visitazores.com

船：

この島へは客船も利用できます。

詳細は、次のウェブサイトをご覧ください。

- www.atlanticoline.pt